

令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」(事務事業点検シート)

課等名: 都市整備課

シート No.: 89-2 作成日: 2025.3/17

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

| 後期基本計画 | 施策の大綱 | V都市基盤の充実 | 事務事業の背景・目的 | | 事務事業の目標 | |
|------------------|------------|-----------------|--|--|---------|--|
| | 施策の目標 | 3快適な都市環境の整備を進める | 1 背景 現在市内では約580件の空き家が確認されており、未確認も含めた実態数は1,000件以上と予想されています。これらを放置すると、災害時のリスクが高くなったり、治安の悪化につながる恐れがあります。また、空き家の所有者は遠方に住んでいることが多いため、実際に空き家を管理することが難しく、今後どのように扱ったらいいのか悩んでいる場合があります。 2 目的 空き家の管理・削減と同時に空き家の利活用を促進することで、市民と移住者にとってより良い住環境の整備を進めます。 | 1 市の特性に応じた空き家の再生・活用を促進することが重要だと考えます。そのために、空き家をリノベーションし、シェアハウスやコミュニティスペースとして活用する事業を推進します。 2 空き家等バンク制度を充実強化し、所有者と利用希望者のマッチングを行うことで、地域の住宅供給の充実を目指します。 3 管理活用支援法人の指定や対策促進区域を設定し、空き家の管理や維持に関する政策を推進するとともに、地域全体で空き家問題に取り組む体制を整備し、地域の活性化と住環境の向上を図ります。 | | |
| | 施策 | 2住宅・宅地 | | | | |
| | 施策内容 | 空き家利活用の促進 | | | | |
| その他、根拠法令及び分野別計画等 | 常総市空家等対策計画 | | | | | |
| 事務事業名 | 空き家等対策事業 | | | | | |

② アクティビティ(活動・事業)とアウトプット(結果)

③ インプット(投入)

| アクティビティ(活動・事業) | | アウトプット(結果) | | | R6予算額 | R6決算額 |
|------------------------------|---|------------------|-------|-------|-----------|-----------|
| 活動名・事業名(対象年) | R6活動・事業内容 | 指標(単位) | R6目標値 | R7目標値 | | |
| 空き家等バンク 物件登録 (R6・7・8) | 空家等の情報をホームページ等で公開し、空き家を利用したい方へ情報を提供します。 | 物件所有者(件) | 2 | 2 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | | R6実績値 | 2 | | |
| 空き家等バンク 利用登録 (R6・7・8) | 利用登録を促し、住宅だけでなく、店舗や事務所、別荘、会社の寮やサテライトオフィスなど、さまざまな用途での活用につなげます。 | 利用希望者(件) | 5 | 5 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | | R6実績値 | 6 | | |
| 空き家対策 総合支援事業 (R6・7・8) | 空き家等バンクに登録された物件に対し、国の補助制度に上乗せした市独自の助成制度を創設し流通の加速化を図ります。 | 実施件数(件) | 2 | 2 | 600 千円 | 600 千円 |
| | | | R6実績値 | 2 | | |
| 空き家等相談 (R6・7・8) | 利用用途が明確に決まっていない物件所有者の有効な利活用と活用したい利用登録者のマッチングを行います。 | 物件所有者または利用希望者(人) | 50 | 100 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | | R6実績値 | 170 | | |
| 空き家活用 セミナー参加 (R6・7・8) | 先進事例を事例研究し、官民学金のノウハウを活用につなげます。 | セミナー数(回) | 5 | 5 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | | R6実績値 | 10 | | |
| 空き家所有者 へのDM送付 (R6・7・8) | 市の空き家データベースをもとに、利活用できる可能性が比較的高い物件所有者に対し、バンク利用のダイレクトメールを送付します。 | 物件所有者(通) | 30 | 50 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | | R6実績値 | 64 | | |
| | | | | | 千円 | 千円 |
| | | | | | 千円 | 千円 |
| | | | | | 千円 | 千円 |
| | | | | | 千円 | 千円 |

④ アウトカム(成果)

| 指標名 | 目標値 | R6実績値 |
|-----------|-------------|---------------|
| 空き家等物件の解消 | 50件 (R9) | 99件 (R5・6) |
| | | |
| | | |
| | | |

⑤ 点検・改善

| 業務の振り返り | 改善の余地 | | | |
|--|--|--|-----------------------------|------------------------------|
| 市内全域を対象とした潜在的な空き家調査が2年目に入り、データベースに登録された空き家数も年度当初より130件増加している中、小規模な修繕または修繕を伴わずに活用できそうな空き家等の掘り起しをスタートしました。そうした中、賃貸・売却や二次的住宅利用を除く、その他の空き家等所有者については、所有者が遠方であるケースが多いことから窓口に来庁して相談にいたった物件はごくわずかです。一方で、ダイレクトメールを確認して、バンク登録に至った事例もあることから、物件所有者へのアプローチが、相談の機会になっています。 | <input checked="" type="checkbox"/> コスト | <input checked="" type="checkbox"/> 活動 | <input type="checkbox"/> 成果 | <input type="checkbox"/> その他 |
| | 今後の方向性 | | | |
| | 空き家等対策連絡協議会において、空き家等活用支援法人の指定に関する要綱が制定されました。これを契機に法人の指定を推進し、空き家の掘り起しの強化やWeb相談窓口の開設などを検討していきたいと思っております。また、空き家流通の活性化につなげるため、空き家等対策総合支援事業を積極的に活用し、物件所有者と利用希望者のマッチング支援なども行い、空き家物件の解消につなげたいと考えます。 | | | |